

第 101 回全国算数・数学教育研究（沖縄）大会 報告

第 101 回全国算数・数学教育研究（沖縄）大会が、令和元年 8 月 5 日から 8 月 9 日に、台風 9 号が迫る中、沖縄県那覇市・宜野湾市において開催された。100 年を超える本大会が沖縄県で行われたのは初めてのことである。大会の研究主題は「未来社会を切り拓くための算数・数学教育～主体的・対話的で深い学びによる探究力の向上をめざして～」であった。

1 開会式（沖縄コンベンションセンター）

開会式で行われる今年の表彰では、第 100 回大会関係で本会元会長 吉田亘先生（都江北高）が表彰された。

2 全体講演（沖縄コンベンションセンター）

演題「数学が本当の意味で使える。これが求められるイノベティブな人材。」

HL, Inc. 創業者/早稲田大学創造理工学研科准教授 玉城 絵美 氏
イノベティブな現場でどのように数学が使われていくのか、ヒューマンコンピュータインタラクティブの現状を踏まえて講演された。

3 高等学校部会講演（沖縄コンベンションセンター）

演題「問題発見・解決の課程を重視した高校数学の指導をめざして」

静岡大学大学院教育学領域教授 熊倉 啓之 氏
4 高等学校分科会（沖縄県立小禄高等学校）
・三角比の指導について—基調発表を踏まえて—
東京学芸大学附属国際中等教育学校 高橋 広明
・確率分布と統計的な推測の実践—統計分野を教える上で留意すべきポイント—

中央大学杉並高等学校 武田 一孝
・「ベクトル」の内容を活用した「図形と方程式」の教材に関する研究

筑波大学附属駒場高等学校 須藤 雄生
・関数の等間隔性について
筑波大学附属高等学校 大堀 健吾
・格子点ゲームを題材とした授業の開発—基調発表を踏まえて—
筑波大学附属高等学校 三輪 直也

・凸レンズの虚像を数学的に探究する取組の一考察
中部学校経営支援センター支所 加藤 竜吾
・高校生に興味・関心を抱かせる数学の教材集作り—比較と予想を取り入れた授業のちょっとした工夫—

東京都立西高等学校 村形 政信
・高等学校数学科における批判的思考の具体例—「問題の明確化」などに焦点をあてた指導法の提案—

筑波大学附属高等学校 岩田 光弘 他 2 名
・深い学びを実践するための指導の工夫とその考察—学ぶ意欲を生かした授業実践—

東京都立科学技術高等学校 片江 康裕
・解説動画を作成する問題づくりの授業—数学における PBL 学習—

芝浦工業大学附属高等学校 金森 千春
・国際バカロレア DP 数学を実践して—3 年間の実践から具体的な取組の報告と紹介—

東京学芸大学附属国際中等教育学校 内野 浩子

・対話的な学びを実現するグループ学習の「教材」—基調発表をふまえて—

東京都立日比谷高等学校 荻野 大吾
・「理数系高校生の数学力」数学Ⅲ編
筑波大学附属駒場中・高等学校 須田 学
・「理数系高校生の数学力」数学Ⅱ B 編—2018 理数系高校生のための基礎学力調査報告より—

東京女学館中学校高等学校 半田 真
・立体図形の単元に証明を与える
武蔵高等学校中学校 友利 将吾
・生徒が主体的に取り組む授業の展開について—数学Ⅱ・数学 B の基調発表を踏まえて—

東京都立日比谷高等学校 青木 弘
・フォーマットを用いた計算—文字式や無理数の計算が苦手な生徒のための型—

東京都立工芸高等学校（定時制）村瀬 歩
・数学Ⅲの教材研究と授業改善—基調発表を踏まえて—
東京都立小石川中等教育学校 中村 明
・GeoGebra を活用した授業実践—グラフ上での考察をもとに導関数を導入する—

東京学芸大学附属国際中等教育学校 菅原 幹雄
・「長期休暇課題シート」を用いた自学自習力を上げる取り組み
芝高等学校 岡田 憲治
・確率を実感する授業実践—巴戦を題材として—
明星学園高等学校 石川 弥

・問題解決のための課題作成の事例—基調発表を踏まえて—
筑波大学附属駒場中・高等学校 須田 学 他
・「対話的」な入試問題演習の模索—プロジェクタなどの ICT 機器の活用—

武蔵高等学校中学校 赤間 祐也
・高校生に興味・関心を抱かせる数学の教材集づくり—ボロノイ点から三角形の「心」を意識させる—
東京都立八王子東高等学校 平井 恒

5 シンポジウム（沖縄県男女共同参画センター「ていりる」）
テーマ「主体的・対話的で深い学びによる探究力の向上」
コーディネーター 東京学芸大学 太田 伸也
シンポジスト 琉球大学教育実践センター 森 力

沖縄県立開邦中学校 大川 哲史
学習院初等科 鈴木 純
お茶の水女子大学附属中学校 藤原 大樹
東京学芸大学附属国際中等教育学校 高橋 広明
福岡教育大学 岩田 耕司

新学習指導要領における算数科・数学科の目標の柱書は、小・中・高等学校共通に、「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする」と示されている。シンポジウムでは、沖縄大会のテーマを受けて「探究」に焦点があてられた。「探究」の対象や方法について、また、子どもの探究の姿をどうつくるか、どうとらえるか、について、授業や教材、子どもの活動等の事例をもとに議論が交わされた。

6 閉会式 (文責・都砂川高 坂井田博史)